


【自立した学習者を育てるために】

- ① 中核的な概念を明確にした**単元構想**
- ② 自己選択・決定の時間を確保し、学びを楽しむ子供の見取り
- ③ **生成AI**を使った教材研究や、授業の中での活用に**挑戦**

◎見方・考え方を働かせながら、自分で学びを進める。
○ツールを有効活用する。

主体的・対話的で深い学びを実現するポイント		
	(主体的・対話的)	(深い学び)
導入	<p style="text-align: center;">「考えてみたい」と思える学習課題の共有</p> <p>【意欲が高まる学習課題】 日常生活との関連 既習事項・経験とのずれ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【見通し】 既習内容（系統性）や前時の確認、類似経験の想起、考える視点の提示 ・約7割の子供の「解けそうだ」を目安に、学び合いに入る。</p>	<p>① 学び方の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールの姿 ・どのように ・時間配分
学び合い	<p style="text-align: center;">個の学びを深めるための場の工夫</p> <p>【自己調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己選択・決定して学習する時間を少しずつ長くする。（5分、10分、25分等） ・誰と何のために学ぶか、自己決定するよう促す。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ①一人で、落ち着いて静かに考えをもつ ②考えの似ている人や違う人と交流し、考えを深める ③悩んでいる人に助言し、考えをより明確にする </div> <p>【全体で聞き合う場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて設け、教師はファシリテーターとなる。 	<p>② 知識の概念的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事実を一般化 <p>③ 教師の見取りと出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている子供への支援 ・見方・考え方を働かせている発言等の価値付け ・子供が目にする板書等の情報の精査 (正確で信頼できるか確認)
まとめ・振り返り	<p style="text-align: center;">まとめ・振り返りの時間の確保</p> <p>【まとめ】 本時の学習課題に対するまとめ</p> <p>【振り返り】 学習内容や学び方、家庭で学習したいこと等の振り返り 例：「〇〇さんの考えを聞いて、違う視点に気付いたよ」 「〇〇さんの学び方が参考になった。次に生かそう」 「家でもう少し難しい問題にチャレンジしよう」</p>	<p>④ 自分の言葉でまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる子供へ重要な概念等を助言 <p>⑤ 考えの深まりをメタ認知する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入時（前時）の考えとの変容に着目

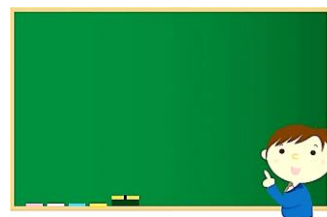
【心理的安全性の高い職員室】

- ① **居場所**があり、あたたかみを感じる職員室
- ② 分からないことも自由に**相談**できる職員室

授業の心得

【子供が落ち着く環境】

- ① 教室前面の掲示物は**必要最小限**にしています。
- ② **黒板全面**が使えるようになっています。
- ③ 子供の机の中・横は、必要な物を**精選**しています。
- ④ 黒板前に教卓等を置いていません。
教師の机上・棚等は、**整然**としています。
- ⑤ マジックやミニホワイトボード等の道具を**自由に使える**ようにします。



【教師の大切な役割】

<導入>

- ⑥ **テンポよく短時間**で行っています。※前時の確認、前時の適用問題の活用、映像の活用

<学び合い>

- ⑦ 子供が**自己調整**して学べる時間を少しずつ長くします。
- ⑧ 個別指導しながらも、**絶えず子供たち全体**を見ています。
- ⑨ **子供同士が関わる工夫**をしています。
- ⑩ 発言に対する周囲の子供の反応を**観察**し、タイミングよく板書しています。
- ⑪ 板書は見やすい文字の大きさで、**端的**に書いています。

<まとめ・振り返り>

- ⑫ 子供が**自分の言葉**で学習の成果をまとめられるよう板書の**情報を精査**します。

<授業全般>

- ⑬ 笑顔を心がけ、子供と**目でキャッチボール**をしています。
- ⑭ 声や表情に**変化**をつけ、丁寧な言葉で話しています。
- ⑮ 無駄な言葉を**削り**ます。
- ⑯ 「**間**」を意識した話し方で子供の思考を助けます。
- ⑰ 気になる子供に対して**さりげなく支援**をしています。



【ツールの有効活用】

- ⑱ **タブレット**は、子供が**自己選択**して使えるようにしています。
- ⑲ **思考ツール**（ベン図、Xチャート・Yチャート、ウェビングマップ、クラゲチャート、フィッシュボーン図等）の使い方を指導し、子供が自由に使えるようにしています。
- ⑳ **生成AI**を、教材研究や子供の考えの類型化等に使ってみます。